

個票1 林道設計における現地形に沿った波型線形の採用〔森1(1)①1-1〕

(2011年作成)

配慮の視点	生態系の多様性への配慮	配慮項目	生き物の生息・生育空間となる多様な自然とそのつながりの保全・創出
配慮事項	生物の生息・生育空間の広さ・形状の確保・適正化		
配慮事例	地形・植生改変に当たっての可能な限りの現地形の維持・復元・創出		
内容	<p>●林道設計における現地形に沿った波型線形の採用</p>		
	<p>【解説】 可能な限り改変面積を小さくするなど、現地形の保全に努めることは、在来種の保全や野生生物の生息・生育環境及び移動空間の確保につながります。 高盛土や切り通しのような大きい切土による地形の改変は自然環境に与える影響も大きく、事業により希少な動植物の生息・生育環境の消失にもつながります。そのため、生物多様性保全の観点から、林道の設計にあたっては現地形に沿った波型線形を採用するなど、できるだけ改変面積を最小化し、影響の低減に努めることが重要です。</p> <p>【具体的な工法・配慮事項】</p> <p>●断面構造の工夫 切土を低くする、伐開幅を最小化するなどして、改変面積を最小化します。</p> <p>●平面線形の工夫 路線を極力現地形に沿った設定とすることで、切土量、盛土量が削減され、改変面積の最小化につながります。また、このような構造は、工事コストの削減や耐久性の向上にもつながります。</p> <div data-bbox="614 1288 1125 1937" style="text-align: center;"> </div> <p>出典:1</p>		

【事例】



【場所】

兵庫県美方郡香美町 林道仏ノ尾線

【環境配慮の内容と方法、工法】

- ・現地形に沿った林道の設定

出典:1

留意点

- ・路線の設計にあたっては、設計者の技術力を要することから、経験豊かな者に指導を仰ぐことも重要です。

参考資料

- 1 「森林・林業白書（平成22年度版）」林野庁